

令和 2 年度

仙台市ガス事業会計決算の概要

仙台市ガス局

令和2年度仙台市ガス事業の概況と決算の概要

1 事業の概況

本市のガス事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市民の生活様式や社会経済の状況が様変わりしていく中、企業使命でもある安全で安心なガスの安定供給に取り組むとともに、需要家戸数とガス販売量の拡大に努めました。

事業実績につきましては、年度末の需要家戸数は345,188戸（都市ガス343,683戸、プロパンガス1,505戸）と、他エネルギーとの競争や住宅着工件数の減少等により、前年度に比較して165戸の減となり、また、ガスの販売量は302,404千 m^3 （都市ガス273,237千 m^3 、プロパンガス425千 m^3 、液化天然ガス28,742千 m^3 ）で、新型コロナウイルス感染症の影響等により、前年度に比較して2.3%の減となりました。

収支の状況につきましては、収入の面では、販売量が減少したことに加え、原料費調整により販売単価が下落したことでガス売上が減少し、収入全体では前年度に比較して10.7%の減となりました。

一方、費用の面では、世界的な景気後退に伴う原料価格の下落等により売上原価が減少し、費用全体としても前年度に比較して13.5%の減となり、差引34億3千6百万円の純利益（消費税及び地方消費税抜き）となりました。

設備投資につきましては、経年管の入替えを着実に推進したほか、さらなる安定供給の確保を図るため供給監視システムの更新を進めたことなどにより、総額27億4千8百万円の建設改良費を執行しました。

営業面につきましては、家庭用では、お客さま宅への訪問巡回とともに住宅メーカーや不動産会社への提案営業を実施し、ガスの利便性PR等による機器買替えや新築時、リフォーム時の都市ガス採用の拡大に努めました。また、業務用では、機器の新設や更新等の時機を捉えて、ガス空調やコージェネレーションシステム等の導入提案を行うなど、業種業態別の営業展開を図り、新規需要の獲得と他燃料への離脱防止に取り組みました。

以上が決算の概況であります。今後とも、ガスの安定供給を通じて快適な暮らしと満足をお届けするとともに、変化の著しい事業環境により迅速かつ弾力的に対応できるよう事業の民営化を進め、ガス事業がお客さまに選ばれ続け地域社会とともに発展していくことを目指してまいります。

(1) 戸数と販売量

区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	比 較	
				増減(△減)	比率(%)
需 要 家 戸 数					
一 般 ガ ス 事 業	戸	343,683	343,847	△ 164	100.0
簡 易 ガ ス 事 業	〃	1,505	1,506	△ 1	99.9
計	〃	345,188	345,353	△ 165	100.0
販 売 量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³)	千m ³	273,237	280,989	△ 7,752	97.2
附 帯 事 業 (45MJ/m ³ 換算)	〃	29,167	28,378	789	102.8
〔 簡 易 ガ ス 事 業 (100.4652MJ/m ³)	〃	425	423	2	100.5
	〃	(190)	(189)	(1)	
液 化 天 然 ガ ス 販 売 事 業	〃	28,742	27,955	787	102.8
	t	(23,767)	(23,117)	(650)	
計 (45MJ/m ³ 換算)	千m ³	302,404	309,367	△ 6,963	97.7
1 戸 1 ヶ 月 当 たり 使 用 量					
一 般 ガ ス 事 業 (45MJ/m ³)	m ³	74.5	76.4	△ 1.9	97.5
簡 易 ガ ス 事 業 (100.4652MJ/m ³)	〃	11.9	11.7	0.2	101.7

(2) 設 備 の 現 況

区 分	設 備 名	数 量 及 び 能 力		増 減 (△減)
		令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	
一 般	気 化 装 置 O R V S M V 計	2基 60 t/時間	2基 60 t/時間	0 t/時間
		1基 30 〃	1基 30 〃	0 〃
		3基 90 〃	3基 90 〃	0 〃
ガ ス 事 業	ガ ス ホ ル ダ ー 球 形 計	7基 700,000 m ³	7基 700,000 m ³	0 m ³
		7基 700,000 〃	7基 700,000 〃	0 〃
導 管	本 支 管 供 給 管 計	4,434,141 m	4,432,513 m	1,628 m
		721,829 〃	716,502 〃	5,327 〃
		5,155,970 〃	5,149,015 〃	6,955 〃
附 帯 事 業	高 圧 装 置 導 管	16 基	16 基	0 基
		49,611 m	49,611 m	0 m

2 決算の概要

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額			決 算 額	増 減 (△減)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△減)	計		
事業収益	40,772,084	△ 6,131,200	34,640,884	34,539,184	△ 101,700
製品売上	35,217,417	△ 5,453,000	29,764,417	30,409,068	644,651
ガス売上	35,217,417	△ 5,453,000	29,764,417	30,409,068	644,651
営業雑益	2,559,128	△ 30,000	2,529,128	1,804,655	△ 724,473
受注工事収入	2,362,516	0	2,362,516	1,629,683	△ 732,833
器具販売収入	138,532	△ 30,000	108,532	117,406	8,874
その他営業雑収益	58,080	0	58,080	57,566	△ 514
附帯事業収益	2,171,164	△ 649,000	1,522,164	1,529,318	7,154
プロパン販売収入	81,335	△ 7,000	74,335	75,342	1,007
受託工事収入	4,224	0	4,224	858	△ 3,366
器具販売収入	669	0	669	41	△ 628
液化天然ガス卸供給収入	2,084,863	△ 642,000	1,442,863	1,453,012	10,149
その他営業雑収益	73	0	73	65	△ 8
営業外収益	821,075	800	821,875	789,010	△ 32,865
受取利息及び配当金	10,180	800	10,980	11,224	244
他会計補助金	137,445	0	137,445	137,445	0
利子補給金	8	0	8	8	0
為替差益	80,000	0	80,000	44,183	△ 35,817
長期前受金戻入	512,515	0	512,515	502,848	△ 9,667
雑収入	80,927	0	80,927	93,302	12,375
特別利益	3,300	0	3,300	7,133	3,833
過年度損益修正益	3,300	0	3,300	7,133	3,833

(注) 収益的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入は、当初 40,772,084千円を予定いたしました。受取利息及び配当金の増収見込みと、ガス売上、液化天然ガス卸供給収入等の減収見込みとの差引きにより、6,131,200千円を減額補正し、最終予算額は 34,640,884千円となりました。

これに対する決算額は、ガス売上、雑収入等の増収と、受注工事収入、為替差益等の減収との差引きにより 34,539,184千円となり、予算額に対して 101,700千円の減収となりました。

収 益 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					計	決 算 額	翌年度 繰越額	不 用 額
	当初予算額	補正予算額 (△減)	予備費 支出額	流用増減額 (△減)	繰越額				
事業費	37,021,588	△ 5,816,109	0	0	1,254	31,206,733	30,036,088	19,766	1,150,879
営業費用	31,419,926	△ 5,374,753	0	△ 62,227	1,254	25,984,200	25,474,268	19,766	490,166
売上原価	19,452,768	△ 6,491,000	0	124,650	0	13,086,418	13,024,941	13,694	47,783
供給販売費	10,631,745	884,466	0	△ 140,289	1,254	11,377,176	11,035,476	6,072	335,628
一般管理費	1,335,413	231,781	0	△ 46,588	0	1,520,606	1,413,851	0	106,755
その他営業費用	2,432,629	△ 24,000	0	△ 223,000	0	2,185,629	1,633,260	0	552,369
受注工事費	2,312,036	0	0	△ 223,000	0	2,089,036	1,538,095	0	550,941
器具販売費	120,593	△ 24,000	0	0	0	96,593	95,165	0	1,428
附帯事業費	1,968,605	△ 642,980	0	36,227	0	1,361,852	1,352,512	0	9,340
プロパン販売費	74,916	△ 5,980	0	11,827	0	80,763	76,029	0	4,734
受託工事費	3,979	0	0	0	0	3,979	868	0	3,111
器具販売費	676	0	0	0	0	676	42	0	634
液化天然ガス卸供給費	1,889,034	△ 637,000	0	24,400	0	1,276,434	1,275,573	0	861
営業外費用	1,148,338	225,624	0	249,000	0	1,622,962	1,574,366	0	48,596
支払利息	442,641	△ 6,718	0	0	0	435,923	428,920	0	7,003
為替差損	80,000	0	0	△ 17,000	0	63,000	22,821	0	40,179
消費税及び地方消費税	622,668	232,342	0	249,000	0	1,104,010	1,103,394	0	616
雑支出	3,029	0	0	17,000	0	20,029	19,231	0	798
特別損失	2,090	0	0	0	0	2,090	1,682	0	408
固定資産売却損	0	0	0	1,300	0	1,300	1,224	0	76
過年度損益修正損	2,090	0	0	△ 1,300	0	790	458	0	332
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
予備費	50,000	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000

(注) 収益的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的支出は、当初 37,021,588千円を予定いたしましたが、供給販売費、消費税及び地方消費税等の増額見込みと、売上原価、液化天然ガス卸供給費等の減額見込みとの差引きにより、5,816,109千円を減額補正し、これに前年度繰越額 1,254千円を加え、最終予算額は 31,206,733千円となりました。

これに対する決算額は、供給販売費、一般管理費、受注工事費等の減少により 30,036,088千円となり、売上原価及び供給販売費 19,766千円を翌年度へ繰り越しいたしましたので、不用額は 1,150,879千円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額				決 算 額	増 減 (△減)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (△減)	繰 越 額	計		
資本的収入	3,574,016	△ 312,094	883,600	4,145,522	1,076,265	△ 3,069,257
企業債	3,300,000	△ 100,000	883,600	4,083,600	1,000,000	△ 3,083,600
国庫補助金	0	8,113	0	8,113	8,114	1
工事負担金	274,016	△ 220,207	0	53,809	68,130	14,321
固定資産売却代金	0	0	0	0	21	21

(注) 資本的収入は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入は、当初 3,574,016千円を予定いたしましたが、国庫補助金の増収見込みと、企業債、工事負担金の減収見込みにより、312,094千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した同意済企業債 883,600千円を加え、最終予算額は 4,145,522千円となりました。

これに対する決算額は、1,076,265千円となり、予算額に対して 3,069,257千円の減収となりました。

資 本 的 支 出

(単位 千円)

区 分 科 目	予 算 額					決 算 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	当初予算額	補 正 予算額 (△減)	流 用 増減額 (△減)	繰 越 額	計			
資本的支出	8,031,983	△ 385,455	0	883,895	8,530,423	6,755,183	790,594	984,646
建設改良費	4,024,856	△ 385,455	0	883,895	4,523,296	2,748,057	790,594	984,645
製造設備	5,195	0	0	68,057	73,252	65,667	0	7,585
供給設備	3,991,034	△ 381,455	0	809,877	4,419,456	2,659,987	790,594	968,875
業務設備	18,350	△ 4,000	0	770	15,120	12,856	0	2,264
附帯事業設備	10,277	0	0	5,191	15,468	9,547	0	5,921
企業債償還金	4,007,127	0	0	0	4,007,127	4,007,126	0	1

(注) 資本的支出は消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出は、当初 8,031,983千円を予定いたしましたが、建設改良費の減額見込みにより、385,455千円を減額補正し、これに前年度から繰り越した建設改良費 883,895千円を加え、最終予算額は 8,530,423千円となりました。

これに対する決算額は 6,755,183千円となり、建設改良費 790,594千円を翌年度へ繰り越しいたしましたので、不用額は 984,646千円となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 5,678,918千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 228,214千円、過年度分損益勘定留保資金 2,355,037千円及び当年度分損益勘定留保資金 3,095,667千円で補てんいたしました。

(3) 損益計算書

比較損益計算書

(単位 千円)

費用の部				収益の部					
科目	区分	令和2年度	令和元年度	増減(△減)	科目	区分	令和2年度	令和元年度	増減(△減)
営業費用		24,716,142	28,632,151	△ 3,916,009	製品売上		27,646,797	31,132,023	△ 3,485,226
その他営業費用		1,496,804	1,361,698	135,106	営業雑益		1,644,099	1,497,012	147,087
附帯事業費		1,349,470	1,835,040	△ 485,570	附帯事業収益		1,390,297	1,820,198	△ 429,901
営業外費用		472,527	569,105	△ 96,578	営業外収益		784,930	770,341	14,589
特別損失		1,662	2,782	△ 1,120	特別利益		6,832	7,906	△ 1,074
小計		28,036,605	32,400,776	△ 4,364,171	小計		31,472,955	35,227,480	△ 3,754,525
当年度純利益		3,436,350	2,826,704	609,646	当年度純損失		—	—	—
計		31,472,955	35,227,480	△ 3,754,525	計		31,472,955	35,227,480	△ 3,754,525

(注) 損益計算書は消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 31,472,955千円で、前年度に比べ 3,754,525千円の減収となりました。これは受注工事収入等の営業雑益 147,087千円、他会計補助金等の営業外収益 14,589千円の増加に対し、製品売上 3,485,226千円、液化天然ガス卸供給収入等の附帯事業収益 429,901千円、過年度損益修正益の特別利益 1,074千円の減少によるものです。

また、総費用は 28,036,605千円で、前年度に比べ 4,364,171千円の減少となりました。これは受注工事費等のその他営業費用 135,106千円の増加に対し、売上原価等の営業費用 3,916,009千円、液化天然ガス卸供給費等の附帯事業費 485,570千円、支払利息等の営業外費用 96,578千円、固定資産売却損等の特別損失 1,120千円の減少によるものです。

以上により、当年度は 3,436,350千円の純利益となりました。

(4) 剰余金計算書及び欠損金処理計算書

資本剰余金については、当年度の増減はありませんでしたので、当年度末残高は 289,492千円となりました。

欠損金については、前年度未処理欠損金が 3,891,363千円でありましたが、当年度純利益 3,436,350千円を計上いたしましたので、当年度未処理欠損金は 455,013千円となりました。

当年度未処理欠損金 455,013千円については、全額を翌年度に繰り越いたしました。

(5) 貸借対照表

比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区 分 科 目	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減(△減)	区 分 科 目	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度	増 減(△減)
固 定 資 産	44,343,480	45,716,828	△ 1,373,348	固 定 負 債	31,004,023	31,925,861	△ 921,838
流 動 資 産	11,425,815	9,050,204	2,375,611	流 動 負 債	7,294,227	8,379,651	△ 1,085,424
				繰 延 収 益	3,161,505	3,588,330	△ 426,825
				資 本 金	14,475,061	14,475,061	0
				剰 余 金	△ 165,521	△ 3,601,871	3,436,350
計	55,769,295	54,767,032	1,002,263	計	55,769,295	54,767,032	1,002,263

(注) 貸借対照表は消費税及び地方消費税抜きの額である。

固定資産については、有形固定資産が、減価償却費の計上等により 1,335,964千円減少いたしました。無形固定資産は、共同溝施設利用権が 37,384千円減少いたしました。これにより、固定資産は 1,373,348千円減少いたしました。

流動資産については、現金及び預金 3,092,236千円、前払費用 2,644千円の増加に対し、売掛金 216,865千円、未収金 111,336千円、製品 6,461千円、原料 335,185千円、貯蔵品 18,936千円、その他流動資産 30,486千円の減少により、差引き 2,375,611千円の増加となりました。

固定負債については、引当金 1,683,333千円の増加に対し、企業債 2,567,250千円、リース債務 37,921千円の減少により、差引き 921,838千円の減少となりました。

流動負債については、引当金 10,539千円の増加に対し、企業債 439,876千円、リース債務 253千円、買掛金 387,363千円、未払金 74,318千円、未払費用 1,921千円、前受金 189,158千円、預り金 3,074千円の減少により、差引き 1,085,424千円の減少となりました。

繰延収益については、長期前受金の減少により、426,825千円の減少となりました。

剰余金については、当年度純利益の計上により、3,436,350千円の増加となりました。

なお、令和2年度末における用地の内訳は、別表のとおりです。

以上が令和2年度仙台市ガス事業会計決算の概要であります。

用 地 内 訳 表

令和3年3月31日現在

区 分	所 在	面積(m ²)	帳簿価額(千円)	使用目的
工場用地	仙台市宮城野区港四丁目13-2 外1	97,119	2,292,808	港 工 場
	小 計	97,119	2,292,808	
事務所用地	仙台市宮城野区幸町五丁目301-1 外15	41,987	884,812	供 給 管 理 棟
	仙台市青葉区中央二丁目10-3	1,822	1,678,307	シ ョ ー ル ー ム
	仙台市太白区西中田五丁目16-11	1,146	44,372	西 中 田 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市泉区将監八丁目1-135 外1	1,231	11,212	将 監 サ ー ビ ス セ ン タ ー
	仙台市宮城野区幸町三丁目101-5	10,990	1,676,049	幸 町 三 丁 目 倉 庫
	小 計	57,176	4,294,752	
施設用地	仙台市青葉区 小田原八丁目328-1 外149	17,638	815,007	整 圧 器 設 置 等
	多賀城市新田字下河原16-7 外16	1,039	23,621	ガ ス 管 橋 施 設
	仙台市太白区茂庭字生出前24-23 外3	5,595	71,371	茂 庭 供 給 所
	仙台市泉区根白石字銅谷堤下13 外7	3,972	51,165	泉 供 給 所
	多賀城市栄四丁目341-1 外5	46,697	223,217	多 賀 城 供 給 所
	小 計	74,941	1,184,381	
その他用地	仙台市宮城野区扇町六丁目4-5 外4	8,406	643,878	
	仙台市泉区根白石字銅谷明神下13-2 外5	8,143	121,261	
	名取市愛島小豆島字島東66 外2	20,041	23,158	
	仙台市青葉区上愛子字五ッ森12	15,760	5,341	
	富谷市ひより台一丁目42-1 外13	3,057	137,291	
	小 計	55,407	930,929	
計		284,643	8,702,870	